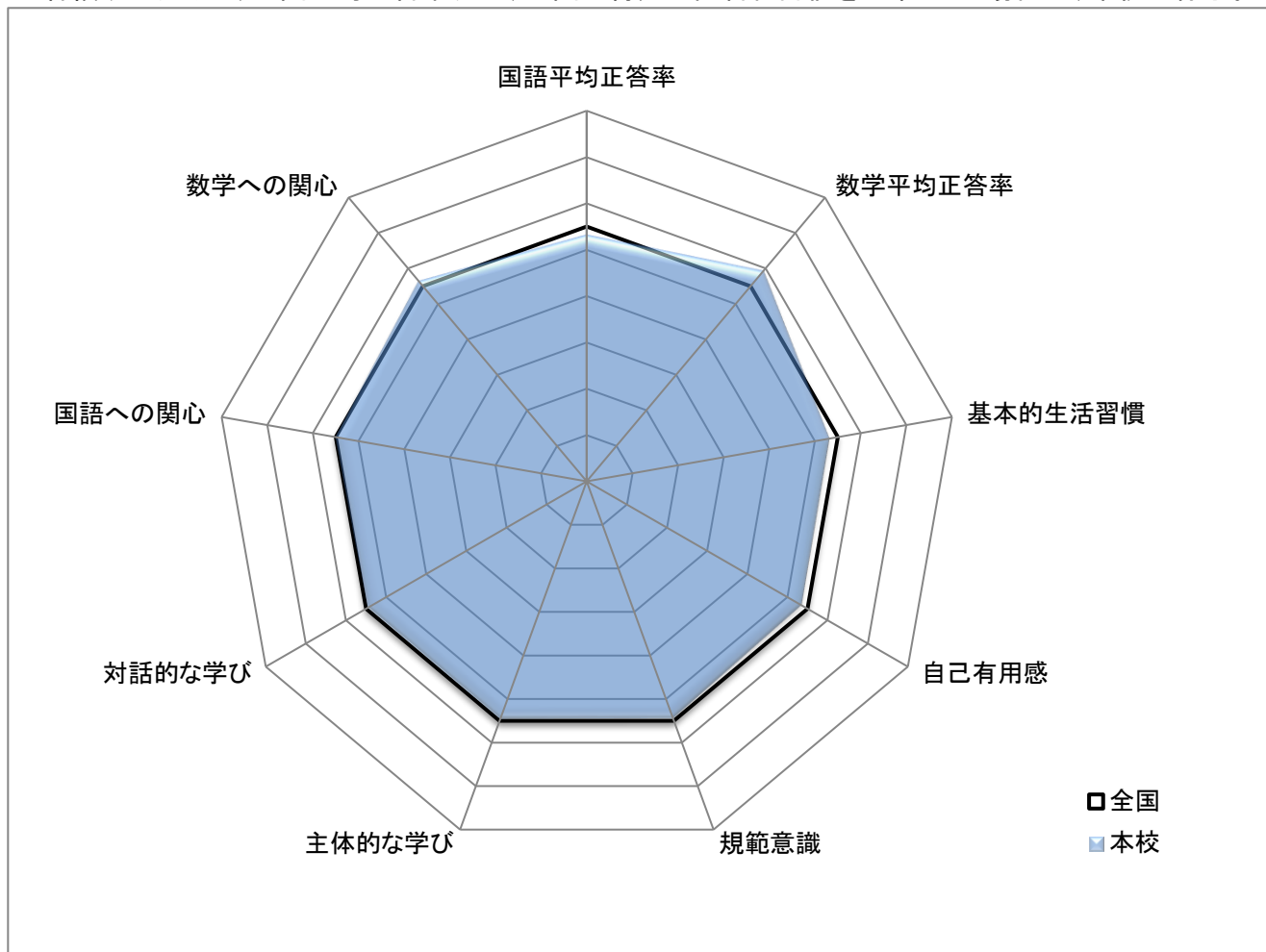


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《チャートの特徴及び現状把握》

全国の結果と比較すると、
 ○【国語への関心】は-0.1ポイント、【国語平均正答率】は-1.2ポイントだった。
 「国語の勉強が好き」は+5.3ポイントだったが、「国語の勉強は大切だと思う」「国語の授業はよくわかる」「国語で学習したことは将来役に立つと思う」は全国平均を下回った。
 ○【数学への関心】は+2.1ポイント、【数学平均正答率】は+4.5ポイントだった。
 「数学の勉強が好き」は+10.2ポイント、「数学の勉強は大切だと思う」は+3.2ポイントだったが、「数学の授業はよくわかる」は-1.6ポイント、「数学で学習したことは将来役に立つと思う」は-3.6ポイントだった。
 ○【対話的な学び】は、-1ポイントで、「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」が-5.8ポイントだった。
 ○【主体的な学び】は、-0.7ポイントで、「1、2年時の授業で、自分の考えを発表する機会において、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表した」は+4.8ポイント、「1、2年時の授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」は-8.7ポイントだった。
 ○【規範意識】では、「人が困っているときは進んで助けている」が-0.5ポイント、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」が+0.6ポイント、「人の役に立つ人間になりたい」は-3.3ポイントだった。
 ○【自己有用感】では、「自分にはよいところがある」は-3.3ポイント、「先生はあなたのよいところを認めてくれる」は-3.7ポイント、「将来の夢や目標を持っている」は-0.4ポイントだった。
 ○【基本的な生活習慣】では、「朝食を毎日食べている」は-4.5ポイント、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」が-14.8ポイント、「健康に過ごすために習ったことを普段の生活に役立てている」は+6.2ポイントだった。

《授業等の改善方法》

- ▶【国語】語彙・日本語指導の強化、感想や表現の学習、ワークシートや練習問題を活用し読解力の向上
- ▶【数学】基礎基本の定着の強化、「思考・判断・表現」の力を伸ばす課題を多く設定する
- 各教科や学級活動、道徳等の場面では次のように取り組む ▶よむYOMUワークシートの活用(よむYOMUの日/週1)
- ▶ICT機器活用の強化 ▶プレゼンテーション(課題設定、情報収集・整理、発表等)の機会を増やす
- ▶ペア・グループによる話し合い活動、学び合いの機会を設定 ▶デジタルドリル(ミライシード)の活用
- ▶生徒同士が互いの意見を出しやすい環境づくり ▶朝食摂取や睡眠等、生活習慣に関する保健指導の実施
- ▶教職員が生徒一人一人の良さを認め、積極的な声掛け(感謝を伝えたり褒めたりする)の実施